



一つ

質問しても  
いいですか？

今までに誰か

聖書を手に取り

どうしたら

天国へ行く道をはっきり

# 知る

ことが出来るか

話してくれた人はいましたか？



聖書には  
悪い知らせ  
と  
良い知らせ  
の両方が書いてあります。

悪い知らせは  
あなたに関すること。

良い知らせは  
神様に関することです。

悪い知らせから先に  
見てみましょう。

# 悪い知らせ その1

私たちはみんな罪人（つみびと）です。

ローマ人への手紙3章23節には、「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」と書いてあります。

「罪を犯した」とあるのは私たちが、的（まと）を外しているということなのです。私たちが、嘘をつき、人を嫌い、みだらな欲を持ち、陰口をたたく時、私たちは神様が定められた基準から外れているのです。

例えば、あなたと私がそれぞれ北極に向かって石を投げたとしましょう。





あなたの方が私より遠くへ投げるかもしれませんが、どちらの石も北極には到達しないでしょう。

聖書に、「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」とあるのは、私たちは皆、神様の完全な基準には、到達していないということなのです。

私たちは、思うことも、言うことも、することもどれも完全ではないのです。

しかし悪い知らせは更に悪くなります・・・

# 悪い知らせ その2

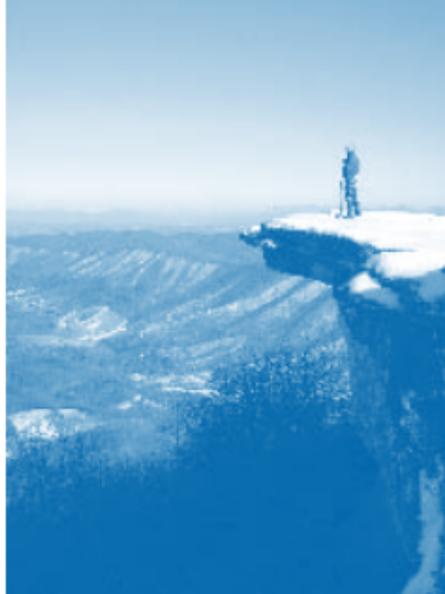
罪に対する刑罰は死です。  
ローマ人への手紙6章23節には、  
「罪から来る報酬は死です。」と  
書いてあります。

例えば、あなたが私のために一  
日働き、私が5000円あなたに支  
払ったとします。この5000円  
は、あなたへの報酬です。  
それが、あなたが労働して得た  
ものです。



聖書には、罪を犯すことによって、私たちは死という報酬を得ていると書いてあります。

それは、私たちが、死に値し、神様からの永遠の断絶に値する、ということの意味しています。



しかし・・・

私たちの方から、神様に近づく方法が無かったで、神様の方から私たちに近づいて下さった！と、聖書は言っています。

# 良い知らせ その1

キリストがあなたのために  
死んで下さった。

ローマ人への手紙5章8節には、「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」と書いてあります。

例えば、あなたが癌で入院し、死が間近に迫っているとします。私があなただの所に来て、「あなたの体から癌細胞を取り出し、私の体に入れましょう。」と言ったとします。

もし、それが可能だとしたら、

- ・私はどうなりますか？
- ・あなたはどうなりますか？

私は死に、あなた  
は生きるでし  
ょう。

私はあなたの代  
わりに死ぬでし  
ょう。



聖書には、私たちが罪のために当然受けるべき刑罰を、キリストが引き受けその身に負い、私たちの代わりに死んで下さったと書いてあります。

三日目に、キリストはよみがえり、死と罪に打ち勝ち、ご自身が神であるという主張が真実であることを証明されました。

悪い知らせが更に悪くなったように、良い知らせも更に良くなります！

# 良い知らせ その2

キリストへの信仰を通して  
あなたは救われます。

エペソ人への手紙2章8、9節には、  
「あなたがたは、恵み（受けるに値しない恩恵）のゆえに、信仰によって救われ（罪の刑罰から解放され）たのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」と書いてあります。

信仰とは、信じてお任（まか）せすることです。

Q：なぜキリストを信じてお任せしなければならぬのですか？

A：キリストだけに頼らなければ、あなたは罪を赦されて、永遠の命を与えられることがないからです。

ちょうど、あなたが椅子に腰を下ろす時、自分で支えなくても、その椅子があなたをしっかりと支えてくれると信じて身を任せるのと同じように、自分で何かをするのではなく、イエスキリストが、あなたを天国へ連れて行って下さることを、信じてお任せしなければなりません。でも、あなたは、こう言うかもしれません。

「私は信心深いです。」

「教会に行っています。」

「盗みなんかしていません。」

「貧しい人を援助しています。」

「私は良い人間です。」

これらはすべて良いことです。でも、善良な生活、教会に行くこと、貧しい人への援助、その他、あなたがどんな良い行いをして、その行いによって天国へ行かれるわけではありません。

イエスキリストだけを信じてお任せしなければならないのです。そうすれば、神様があなたに、永遠の命を贈り物として下さるのです。



今、あなたがキリストを信じてお任せできない理由がありますか？

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

3. \_\_\_\_\_

4. \_\_\_\_\_

よく考えて下さい。  
キリストを信じてお任せすることほど大切なことは他にありません。

「あなたの救い主として、イエス キリストを信じてお任せする」と神様に伝えたいですか？

もしそうなら、今ここで祈り、神の御子を信じてお任せすることを神様に伝えませんか？

# 忘れないでください！

あなたを救うのは、祈りではありません。イエス キリストを信じてお任せすることによって、あなたは救われるのです。祈りは、今あなたがしようとしている事を、神様に伝える手段なのです。

「愛する神様、私は自分が罪人であることを知っています。自分の罪が刑罰を受けるに値することも知っています。キリストが、私のために死んで下さり、墓からよみがえられたことを信じます。イエス キリストだけを私の救い主として信じてお任せします。罪の赦と、今、私が得ているこの永遠の命を感謝します。イエスのお名前によってお祈りします。アーメン。」



## それでは、何が起こったのでしょうか？

ヨハネの福音書5章24節には、「わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。」と説明されています。

- » あなたは神様の言葉を「聞き」ましたか？あなたは神様が言われた事を「信じ」、キリストをあなたの救い主として信頼しますか？
- » 永遠の命を得る」のはもっと先の事だと思いますか？それとも、今すぐだと思いますか？
- » 聖書は「裁かれない」と言っていますか？それとも、多分裁かれないだろうと言っていますか？
- » 聖書は「死から命へと移っている」と言っていますか？それとも、移るだろうと言っていますか？

**“永遠の命は感情ではなく、事実に基づくものです。”**

今日、ヨハネの福音書5章24節を暗記しましょう。

## さあ、これから何をしますか？

あなたは天国への唯一の道として、キリストを信じお任せしたので、ここでは、どうしたら神様との関係をより深いものにできるかお話ししましょう。

- » 心の内にあることを、祈りを通して神様に伝えましょう。（ピリピ人への手紙4章6、7節）
- » 神様のことをもっと知るために、また神様から学ぶために、毎日聖書を読みましょう。（テモテへの手紙 第II 3章16、17節）ピリピ人への手紙から始めましょう。
- » 近くの教会で、神様を信じている人達と一緒に礼拝をささげましょう。（ヘブル人への手紙10章24、25節）
- » イエス キリストのことを他の人々に伝えましょう。（マタイの福音書4章19節）

もし、この小冊子があなたのお役に立ったのなら、どうぞ他の人にも紹介して下さい。この小冊子の内容についてご質問がありましたら下記にご連絡下さい。



The Gospel. Clear and Simple.®

p.o. box 741417 | dallas, tx 75374

[www.evantell.org](http://www.evantell.org) | 800.947.7359

© 2008 evantell, inc.

Japanese

TRMJA001